

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第158号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7F
 TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2016年1月号

【 今月のコンテンツ 】



- 神奈川イグレンご案内 1、2
- 藤巻 均神奈川県産業労働局長に聴く神奈川の産業労働政策の方向 2、3、4
- 「新事業・新技術支援フォーラム」 松井 利夫 4、5
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 5、6、7、8
- 税理士法人 With you 【 連載 21 】 代表社員 出田 敏子 氏 9
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 10

【 神奈川イグレンご案内 】

神奈川県異業種連携協議会 議長 新年のご挨拶

平成28年1月15日

神奈川県異業種連携協議会 議長 金究 武正

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。
 謹んで新年のご挨拶申し上げます。
 旧年中は「イグレン」の様々の活動に対しご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げますと共に、ご支援ご指導に深く感謝申し上げます。

さて最近の経済環境は安倍政権誕生以来、米国・中国を中心とした経済成長に支えられ又、円安・株高もあって大企業中心に比較的順調に推移していた日本経済も、昨年夏頃から中国経済の減速と原油安・株安・円高が急速に進み東証ダウ平均も大発表会から6日連続安の大波乱のスタートとなりました。この現象は戦後初めてとの事です。
 まさに経済は生きもので有り、良い時も悪い時もあります。この様な時こそ会員皆様と連携を強化し、お互いに協力し合いこの厳しい難局を切り抜けなければならないと思っております。
 ここ数年成長分野の柱であったスマートフォン市場の失速が懸念されておりますが今後も将来的に成長が期待されているロボット関連・自動車関連・バイオ関連・医療機器関連等40数年の技術・経験を生かして積極的に取り組み、この厳しい時期を乗り切りたいと思っております。
 最後に会員皆様の益々のご発展とご活躍をご祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

＜イグレン新グループ設立に関する次回会合のご案内＞

イグレンが新しいグループづくりを行うという事で昨年の10月より説明会&意見交換会を行っています。企業経営者を始め行政に携わる方や県OB、会員の方などにご参加頂いており現在意見を集約中です。

イグレンニュースをお読み頂いている会員の方にとっては他業種との交流を深めるチャンスであり、ビジネス拡大につながる可能性もあります。また、第一線から離れておいでの方にとってもご自身の経験を多くの方に役立ててもらえるという貢献の場でもあります。今後、何度か討議を重ねた後、新グループを設立します。次回は2月18日(木)に第4回目の会合を行いますので皆様ふるってご参加下さいませ。是非、皆様のご意見をお聞かせ下さい。

【日 時】 : 2016年2月18日(木) 18:00~20:30 まで (懇親会付)

＜ 新規イグレン会員募集 ＞

かながわイグレンも30周年を迎えホームページも一新し、新たな局面に入ってきています。出来るだけ多くの皆様にもご参加いただけるよう会費の変更も行っています。現在、個人会員は3,000円、サポート会員の皆様は1,000円と、ご加入頂きやすい会費となっています。ビジネス拡大の場として、また皆様の交流の場としてご活用頂ければと思います。

皆様の周りの方で人との交流、ビジネスなどに興味がおありの方がおいででしたらイグレンスタッフまでお声がけください。

＜新規会員のお知らせ＞

松井 隆 様	(株)シーエー
山口 耕司 様	(有)オービタルエンジニアリング
渡邊 勉 様	歯科 技工士

藤巻 均神奈川県産業労働局長に聴く神奈川の産業労働政策の方向

2015年10月16日に神奈川県藤巻均産業労働局長を訪問し、神奈川県産業労働政策についてイグレン事務局と意見交換をしましたのでその内容を報告します。

イグレン専務理事 芝 忠
事務局次長 愛賢司

I. 県の産業政策について

(イグレン) 一般的な質問になるが、今後の神奈川県の産業政策についての考えを伺いたい。

(藤巻局長) 今まで景気の動向の影響を受けながらも、県内経済が一定の成長を遂げてきたのは、人口、就業人口とも全体としては増えてきたからである。これからは人口も就業人口も減少していく。つまり市場が縮小していく時代に入る。神奈川県のGDPは30兆円を超えているが、今後その経済力を維持していけるのか。

エネルギーや福祉の需要は今後も伸びていくだろうが、それは基本的に県内市場の中でお金が回っていくのであって、経済成長を図るには、もっと全国や海外の市場から外貨を稼いでくる企業の支援を強化していかなくてはならない。企業誘致にしても、その企業が世界市場を相手にやっていけるのかという評価が必要だ。

また、今後、外貨を獲得していくという点でいえば、観光産業は重要だ。従来以上に観光にも力を入れていく必要がある。

(イグレン) イグレンが関東学院大学に委託されて実施した、海外進出に関する中小企業の調査では、海外に進出した企業よりも、県内に残って海外に製品を輸出している企業の方が相対的に技術が高い。県内企業が全国や海外を相手に積極的に事業展開が出来るような方向を重視すべきで、企業誘致最重点の政策には疑問があるが。

(藤巻局長) 企業誘致とあわせて、県内企業に創業や新しい事業展開を精力的に進めてもらうことも重要だ。東京のような地価の高いところでは、付加価値の高い企業が事業活動をしている。神奈川も地価は高いので、競争力の高い企業が集積していると認識している。神奈川の経済力を強くしていくには、県内企業の事業活動の強化と、大企業に限定しないで世界で渡り合える企業を誘致して、生産性の高い産業構造にしていかなければならない。

(イグレン) 最近の統計では、県内事業所数は全体として増えているようだが。理由はどうみているか。

(藤巻局長) 東京都からの流入が増えている。付加価値の高い企業でないと東京の中心部ではやっていけない。単に事業所が増えているから良いというのではなく、どういう業種、どんな企業が神奈川に流入しているのかきちんと分析する必要がある。

II. 中小企業振興策について

(イグレン) 昨年「小規模企業振興基本法」が施行され、小規模企業の持続的発展という方向が打ち出された。1999年の中小企業基本法の改正で、伸びる企業を伸ばそうという政策がすすめられたが、その方向が立ちいかなくなって、現に存在している中小企業や小規模企業に光を当てる方向だと思うが、小規模企業に対する政策は。

(藤巻局長) 中小企業庁も言っているが、中小企業に対する支援メニューは出尽くしていると思う。これからは、支援メニューが有効に活用されるように、いろんな人たちが交流し、中小企業の振興を図る人材が活躍できる場をつくっていくことが重要ではないか。

商業も工業も顧客の多様なニーズに合わせた事業展開をしていくことが今まで以上に求められている。商店街であれば、単に商品を売るだけでなく観光と結び付けていくようなことも考えられる。

また、中小企業に光を当てる政策という点でいえば、きめ細かな施策は必要だが、最終的には、新しい事業展開をするなり、伝統的なものを守っていこうとするなり、明確な事業戦略をもって企業を支援していくことが重要ではないか。

(イグレン) 川崎のS社は、ドイツの会社もまねできないほど技術が高く、しかも材料や部品購入については、国内の協力企業の比率が高い。国産化比率の高い企業の表彰制度を希望している。

(藤巻局長) 世界で通用する技術を持つ企業が神奈川には沢山あるはずだ。そうした企業を神奈川ブランドとしてもっとアピールしていく必要がある。産業技術センターでは、神奈川を代表する技術力のある企業は把握していないのか。

(イグレン) 産業技術センターは、長年の集約化とスリム化で、現場の技術支援する力量が著しく低下している。類似の工業集積地である大阪や愛知と比較しても、どちらも府や県とともに政令市が技術支援機関を持っている。大阪府の場合は、国の機関もあり技術支援の条件が極めて厚い。神奈川も県が政令市に働きかけて、全県域で中小企業の技術支援体制を構築すべきだと思う。

(藤巻局長) 確かに、政令市の技術支援策との連携は必要だろう。

III. 人材育成・事業継承について

(イグレン) 都築区のY社は従業員20人位の小規模企業だが、廃業した2社から腕の良い職人を採用し「神の手職人がいる」というふれこみでPRしたら全国から仕事の引き合いがあった。藤沢にある従業員10人位の機械加工業者は、技術・技能の継承のために、例えば大企業で仕事をしていた腕の良い技能者の人達を「技能者バンク」の様なところに登録してもらい、中小企業に派遣するシステムを望んでいる。技術・技能の継承についてどのようなことが必要か。

(藤巻局長) ものづくりの優れた技術・技能を持っていながら後継者がいないために、その技術・技能が途絶えてしまうのは神奈川にとっての宝の損失になる。受注量が減少するなど、技術・技能を継承が

難しくなっていると聞いているが、中小企業が互いに連携して後継者を育成するような仕組みづくりが必要ではないか。

(イグレン) 中小企業の人材育成に、県はもっと踏み込んだ対策が必要ではないか。中小企業に対する情報が不足しているために、若者の中小企業に対する評価は極めて低い。神奈川には特色のあるユニークな中小企業が多く存在することを、若者に理解してもらうようなことも必要ではないか。

(藤巻局長) 景気の回復に伴い、中小企業は人材の確保が困難になってきており、支援策を検討する必要があると考えている。一方、中小企業も入社した若者の成長に責任を持つような、将来に希望や展望を持てるようなキャリアアップの制度などを示すことが大事ではないか。

(イグレン) イグレンが関東学院大学とタイアップして、学生を対象に一泊中小企業見学ツアーを4回実施してきた。中小企業を見学することで、自分たちの持っていた中小企業に対するある種のマイナスイメージを払拭することが出来たという感想や、社長との夜の交流で、中小企業の経営者の考えに接して、中小企業の評価が変わったという意見が多くあった。

(藤巻局長) インターンシップ制度の活用をもっと進める必要がある。県がインターンシップを受け入れるという中小企業を募り、それぞれの企業の特長や得意技術をアピールしてもらい、それを県内の各大学を通じて学生に情報提供すれば、かなりの学生からの応募が期待できる。そのことにより、地域経済を支えている先進的な中小企業や、海外に負けない中小企業が多くあることを学生に理解してもらい、中小企業の人事確保にもつながるのではないかと。

IV. その他

(イグレン) 「よろず相談」の制度があるが、相談や支援する職員やコンサルタントの力量が問われている状況がある様に思われるが。

(藤巻局長) 福祉の分野では、包括ケアセンターで個々のケースについて医療、看護、リハビリ等それぞれの意見を出し合って、その人にとって一番良いケアプランをつくって対応している。しかし、個々の中小企業の支援については、金融の立場なり、労務の立場なりで対応して、総合的なベストの企業支援を系統的に打ち出すのはなかなか難しい。また、従来のように、機械的にコンサルタントやコーディネーターの方々に回せば良いというわけにはいかないだろう。個々の中小企業の支援を進めるうえで、強力なマネジメント力を持った人材が必要になっていくのではないかと。

(イグレン) 最後に、中小企業の皆さんへのメッセージを一言。

(藤巻局長) これからは、経済のグローバル化がさらに進むため、それに対応した事業戦略、事業展開を進めていかなければならない。例えばIOTを導入して生産性の向上を図り、また、神奈川の立地的な優位性も活かして、全国や海外を相手にした企業活動を期待したい。

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)のレポート

松井利夫

第37回フォーラムは平成27年11月26日に開催。初めに、奥寺さんから、起業には軍資金が必要なことと、補助金申請した結果の報告などがあった後、流体軸受の開発について説明があった。

流体軸受はパソコンのハードデスクの中心に使われる部品である。以前は、ND社がほぼ全量作っていた。ND社では、約300台の特殊自動切削機械で生産していたが、プレス加工で出来ると判断し金型を作って挑戦した。ここに持ってきたのがプレス加工した流体軸受であるが、寸法公差が非常にシビアで1ミクロンをキープしなければならない部品である。流体軸受は三吉工業で作ることにしていたが、パソコンそのものの生産が中国の企業に移ってしまったため、プレス加工した流体軸受は99%完成度で終わってしまったとのこと。昔のパソコンはボールベアリングが使われていたが、今は、ほとんど流体軸受である。流体軸受は非接触のため音が静かである。

次に、補助金を3億円貰って開発した燃料電池用のセパレータについて説明があった。セパレータは、バッテリーの極板のような部品であり、特殊ステンレス鋼で作られている。1台の車に800枚位使われている。

セパレータの研究は15年くらい前から行い、8,9年前にN社に納めたことがある。現在の燃料電池車はトヨタの場合500km、ホンダは700km走るといふ。燃料電池は水と空気があれば良いので、いずれは家庭用品や他の色々な事業で使われるようになると思うとのこと。

次は、知人から、メガソーラーのケーブルが盗難に遭うことが多いことから、監視カメラシステムを共同で作る人がいないかとの話があったので、監視カメラの製作を栗田さんに引き受けて貰った。栗田さんは、目下、試作中であることと、雪の多い新潟でマンゴーの栽培に使われているヒーターを自分が改良して商品化したいので、以前、石川さんが使っていた加工機械が使えないかという相談があった。その他、奥寺さんからは、友人が、ヒートポンプを使って鰻の養殖をしているが一匹も死なず100%養殖実験に成功していることなどの説明があった。

次に、伊藤さんから、12月11日に開催する「ヨコハマ・アグリフォーラム」に自社の田圃センサーを展示していることと、世話になった神奈川県農業技術センターの深山氏の講演があるとの紹介があった。また、ある雑誌に道路冠水の警報装置に関して横浜市の考えが述べられていることと、この中に写っている装置は当社のものであること。今までの装置は警報するところまでで終わっているが、横浜市では、警報が土木事務所に届いたら、現場に1時間内に行くようなシステムになっているとの説明があった。

次に、出席者の方から、開発や販売している製品についてそれぞれ説明があった。江川さんからは、スターリングエンジンが電気事業法で明記されたので今後の普及を期待しているが、独自開発のスターリングエンジン(KAIHOエンジン)は、事情があつて開発を中断しているとのこと。石川さんからは、トンネルの内壁剥離防止と火災防止を目的とするコンクリブロックにペットボトルの短繊維を混ぜるため、当社は短繊維を大手ゼネコンに納め始めていることなどの説明があった。

【 イグレン会員グループ・プロジェクト状況 】

【第168回 日韓ビジネス協議会】

高橋 導徳

1. 日時：2016年1月20日(水) 午後4時30分～5時15分 協議会 会費：1,000円
午後5時30分～8時00分 新年会 新年会費：3,000円
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
かながわ異業種交流センター（神奈川県異業種連携協議会）TEL：045-228-7331
*新年会の会場：日本海庄や（横浜馬車道店）TEL：045-662-7411
3. 次第：○会長挨拶 瀧澤 清氏
○メイン講師
ライフカウンセラー 小峰直保子氏
タイトル：「韓国人とのビジネス成功の秘訣、日本とどこが違う！」
要旨：韓国・忠清南道論山市で3年間、日系企業の駐在員として勤務し、最近退社して帰国した。現地での成功、失敗、楽しさ、苦しさなどのエピソードを報告する。

【NPO法人 C&S経営支援協会】

NPO理事長 松井利夫

速報！平成27年度補正予算による

「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」のお知らせ

昨年2月13日(金)～5月8日(金)に公募された平成26年度補正予算による「ものづくり・商業・サービス革新事業補助金」は、応募総数17,128件、採択件数7,253件(約72%)という極めて有利な補助金でした。

この補助金を少しだけ変更して標記の名称で、平成27年度補正予算が国会を通過する直後に公募が開始される見込です。早ければ、昨年同様2月上旬には公募が開始されるものと思われます。補助金申請を計画されている方は、今すぐに準備しましょう。

補助金事業の概要は次の通りです。

1. 革新的サービス・ものづくり開発支援（補助率2/3）
 - (1) 一般型 補助上限額：1,000万円【昨年度同様】
中小企業が行うサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善に必要な設備投資等を支援。
 - (2) 小規模型 補助上限額：500万円【昨年度700万円】
小規模な額で行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を支援。
2. サービス・ものづくり高度生産性向上支援（補助率2/3）【新規】
補助上限額：3,000万円
IOT(モノのインターネット)等の技術を用いて生産性向上を図る設備投資等を支援。

<お知らせ(再)>

第二弾・緊急セミナーの『マイナンバー制度の実務対策』は、1月22日(金)3時より開催します。申込みはまだ間に合いますのでどうぞ！詳しくは添付のチラシをご覧ください。

異業種交流会シフト21

【<http://shift21.jimdo.com/>】

有村 知里

<2016年2月定例会>

- 日時 2016年2月9日(火) 18:30~20:20
- 場所 かながわ県民センター 3階 303会議室
- プログラム

1. 講演 : 「ビジネスに活かす写真のチカラ」

写真は貴方のビジネスの大切な入り口です。グラフィックデザイナーの視点で捉えた、ビジネスに役立つ写真の在り方や、写真に対する意識の重要性について作例を交えてお話いたします。

【講師】川名マッキー様：株式会社ビー・キューブ代表取締役、グラフィックデザイナー&カメラマン
横浜市出身のグラフィックデザイナー&カメラマン。専門学校グラフィックデザイン科卒。デザインプロダクションで多くの撮影現場に接し、撮影ノウハウを独学で習得。1992年に独立後、ポスター、広告、雑誌、CD&DVDジャケットなどを中心とした商業出版物の企画、デザイン、製作、撮影を幅広く手掛けている。写真コミュニティ『フォトヴィレッジ』の村長。

http://massmass.jp/project/interview_kawana_macky/

2. プレゼンタイム

お一人様5分間で、ご自由にプレゼンしてください。 3名まで募集いたします。

■参加費

定例会：初回は無料 2・3回目は1,000円、4回目以降は4,000円

懇親会：初回参加の方 1,000円、2回目以降の方実費(3,000円程度)

異業種交流会シフト21とは

シフト21は平成8年から活動している異業種交流会です。

多彩な経営者・起業家が集い、外部講師による講演や会員のプレゼンなどを行い、各自の研鑽を図りながら、ビジネスに繋げる交流を図っています。

お問合せ・お申込みは事務局・有村まで。shift21info@gmail.com

【 海老名サロン・・・事業化プロジェクト 】

(ヨコハマアグリフォーラムへ出展・・・田んぼ管理システムグループの参加)

イグレン専務理事 芝 忠

海老名サロンから誕生した事業化プロジェクト「田んぼ管理システムプロジェクト」(代表株ユニメーションシステム代表取締役伊藤幸彦)が2015年12月11日、横浜情報文化センターで開催された横浜市主催の「ヨコハマアグリフォーラム」に出展しました。フォーラムでは植物工場などの発表が行われ、300人を超える来場者で満杯になるほどの関心の強さを示しました。当プロジェクトにも30人以上が来展し、製品のリース計画の提案や、建設業界から、温湿度管理システムの開発打診などもあり大変活気のある展示でした。

同プロジェクトは、海老名サロンのメンバー6人の他、開発協力企業など5社が協力しているものです。昨年神奈川県農業技術センターの協力を得て、同センター圃場での水位計測機器の実験的取組の結果を踏まえて、さらなる改良製品を提案しています。またこれをきっかけに農業分野の研究機関と商工関係の事業者との交流・連携が発展しています。本年は農家の協力を得て、本格テストを行う予定です。



＜ 県産業技術センターが独法化か!! ＞

イグレン専務理事 芝 忠

海老名市にある神奈川県産業技術センターが、県立県営から地方独立行政法人に移行する提案が浮上しています。この2月県議会に法人設立の関連議案が提案される予定です。溝口にある神奈川科学技術アカデミー(KAST)と統合して、基礎研究から実用化まで、幅広く対応するという計画です。しかしKASTの基礎研究は一部を除いて過去実用化には距離のある研究が多く簡単にはいきません。一方、産業技術センターは20年前に、横浜市金沢区にあった工業試験所などが統合移転して開設されたものですが、研究職員の大幅減員により、各種の技術分野の担当不在で機能低下を生じています。東京都や大阪府などの同種の試験研究機関と比較しても神奈川の職員数の落ち込みは大きく、このままでは県内中小企業の要望に応えられない状態です。また技術機関として公務員でなくなり、任期付き研究者が増え、結果として、経常業務に支障の出る恐れがあります。独立法人化は急ぐべきではありません。本体の拡充整備を先行すべきでしょう。KASTは自ら改革して「実用化・地域貢献」の方向性を探るべきです。産業技術センターに丸投げすべきではありません。

「学生は中小企業の広告をどう評価しているか」の報告書まとまる・・・関東学院大学

30周年記念誌に掲載された交流ファイル92社・個人・団体について、関東学院大学学生が就活情報としてどういう関心・興味を持つのか、山崎講師の協力で、学生の意見を集め、分析した報告書がまとまりました。掲載広告のなかで関心・興味を持った企業等を3件選び、その理由や、改善すべき内容、感想を聞いたもので、129人の学生の生の声が迫力あるかたちでびっしり掲載されております。出来上がり105頁。中小企業のまとまった就活情報誌としては初めてみたという声が多く、経済学部の学生なのに技術に興味を持つものが多く、また食品や服飾への関心、やはり宇宙や深海への夢なども魅力ある世界です。中小企業や地域経済に関心を持つ学生たちの率直な意見が満載しており、人事、広報担当者必読の内容です。経営者として現代の学生がどういう考えも持っているのかをつかむうえでも最適な教科書です。(芝忠)

イグレン会員には1万円、会員外には2万円で頒布します。申し込みは事務局まで。

イグレンホームページに新しい投稿が公開されました。

- 【作成者】 加藤 文男
- 【タイトル】 38 取引先の把握と管理 【カテゴリー】 初心者のための資材購買
- 【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/column/purchase/purchase-895/>
-
- 【タイトル】 39 取引先管理 (外注管理) 1 【カテゴリー】 初心者のための資材購買
- 【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/column/purchase/purchase-903/>
-
- 【タイトル】 40 取引先管理 (外注管理) 2 【カテゴリー】 初心者のための資材購買
- 【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/column/purchase/purchase-905/>
-
- 【タイトル】 41 新規取引先の開拓 1 【カテゴリー】 初心者のための資材購買
- 【掲載ページ】 <http://www.kanagawa-iguren.com/column/purchase/purchase-906/>

税理士法人 With you

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡2-4 YSビル3F
 電話：045-312-6724 FAX：045-412-6734
<http://www.tkcfnf.com/ideta/pc/>

税理士・産業カウンセラー・FP・
 キャリアデベロップカウンセラー

代表社員 出田 敏子



【連載 21】 贈与に関して・・・。

【贈与したつもり・・・でも大丈夫？】

親から子へ、孫へ。自分の財産を受け渡すのに相続税をうまくかわす為に贈与をうまく使う方法があります。しかし「うまく贈与したつもり」であっても、相続時には贈与と認められない、ということがよくあります。

1. 贈与税の非課税枠内で生前贈与したはずなのに？ なぜ相続扱い？

【事例】Aさんは、子供のBさんに贈与税の非課税枠である110万円以内で毎年Bさん名義で定期預貯金として贈与していました。ところがいざ相続発生時になると、税務調査で「これは生前贈与ではなく相続財産」と言われてしまいました。⇒何がいけなかったのでしょうか？

- ・AさんはBさんの通帳の届け出印はBさんに渡していたが、貯金通帳そのものはAさんが保管していた。
- ・預貯金等を贈与するという契約書が無かった（口頭での約束のみ）。
- ・Aさんは必要に応じて預貯金の一部を解約して使っていた。

このようなケースでは、贈与が成立しておらずAさん自身の貯金とみなされるため、相続税の課税対象となります。

2. 生前贈与と認められる条件はなんでしょう？

民法では贈与について「当事者の一方が自己の財産を相手方に与える意思表示をし、相手方が受諾することによって成立する」と定義しています。つまり一方的に「あげる」という意思表示では成立せず、「当事者間での契約があって」はじめて有効になります。税務調査などで問題になるところがそこで、生前贈与の事実を証明しなければなりません。ポイントは以下の3つです。

- ① 贈与の都度、贈与契約書を作成する・・・口約束でも契約したことになりますが、証拠にはなりません。書面（贈与契約書）を作成して、「あげます」「もらいます」と言った意思表示があったことを照明しておく必要があります。
- ② 通帳や印鑑、カードの管理は贈与を受けた者が行う・・・贈与を受けた、ということは、そのお金はもらったものが自由に使える状態に管理できるということです。贈与した当人が通帳を手元においたままで好き勝手に引き出したり、解約したりできる状態では、贈与したことにならず、贈与者による子供などの名義を使った名義預金とみなされます。
- ③ お金の贈与は振込で行う・・・贈与の事実を確実に記録に残すためには、現金でやり取りせず、通帳振込などで確認できるようにしておくことが重要です。

3. 贈与額が年間110万円を超えた場合は贈与税申告をしましょう

金銭を暦年贈与した場合、贈与税はその年中に贈与した金額から基礎控除額を差し引いた金額に課税されます。1年間に贈与した金額が110万円以下であれば贈与税はかからない為申告の必要はありませんが、110万円を超えた場合は贈与税申告をする必要があります。

【注意】110万円以下でも課税されるケース

例) 10年間にわたって毎年100万円ずつ贈与を受けることを贈与する人と約束したとします。すると、**その約束をした年に**、「10年×100万円の給付を受ける権利が贈与されたとみなされる」ため、贈与税がかかりますので注意してください。

大まかに、「110万円まで無税」と心得ていると、いざというときに思わぬことで足元をすくわれることがあります。自分の贈与が有効であるかどうか、必ず専門家に相談して確認するように心がけてください。

	神奈川新産学公交流 第70回 サロン横浜	西湘サロン 第60回	海老名サロン 第32回	三浦半島経済人サロン 第69回
日程	01月20日(水) 18:00~20:30	01月18日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~	01月22日(金) 15:00~	02月24日(水) 18:00~ 開場は17:30~
場所	横浜市中区尾上町3-45 紅花	日本生命小田原ビル 4階会議室 小田原市本町1-4-5	神奈川県産業技術セン ター2F講義室 海老名市下今泉705-1	神奈川新聞社 横須賀 支社5階会議室 横須賀市小川町21-9
連絡先	(織方、篠原、坂本、 杉本)	イグレン(吉池)	愛賢司	堀込、芝、鶴野、西澤
内容	サロン横浜新年会 会費:4500円程度 サロン横浜新年会 お申込は16日までにお 願います。	「いのち輝かせて、商いに 生きる 94歳」 湯河原町和菓子処味楽庵 会長 室伏 昇氏 参加費:1,000円	「循環型社会に向かう ための諸要因を考える」 神奈川大学理学部非常 勤講師 小林 裕氏 他 会費:1,000円	後日連絡 (有)品川文化堂代表取締 役 品川哲朗様 参加費:1,000円

尾上町サロン・・・毎月1回、第一金曜日に開催。次回02月05日17:15~19:30 参加費1000円
ざっくばらんに語り合う場 会場:中小企業センター703 イグレン事務局

新年明けましておめでとうございます。皆さんどんな年末年始をお過ごしでしたでしょうか?

私は実家に戻り庭を畑に変えたいという母の要望を受け、土を耕したりブロックで土留めをしたりと筋肉痛の年越しでした。驚いたのは庭を耕している時の事。なにやら土のなかからモゾモゾ動くものが……。よく見ると蟬の幼虫でした。皆さん、幼虫を見たことがありますか?想像していたのは芋虫の様なものですが何と・・・蟬そのもの。大きなものは既に茶色の殻をかぶっていますが小さいものは真っ白です。動きはとても鈍いです。何を食べているのでしょうかね。まだまだこの年になっても知らないものが色々あるみたいです。今年もイグレンニュースを楽しめるものにしていきたく思いますのでどうぞよろしくお願います。



「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会でこんな事になりました……。など原稿を募集中です。

伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川イグレンへの連絡問合せは、Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp

神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】①菊地②指方③加藤④愛⑤芝

【木】①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階インキュベートルーム703号
神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com